

みんなのた場

サークル仲間 130

雄勝オーリングコーラス

歌うことでストレス発散
集いの場で交流深める

雄勝公民館の大ホールから伸びやかな歌声が聞こえてくる。毎月第2、4水曜日の午後1時30分から活動する、雄勝オーリングコーラスの皆さんです。ピアノの伴奏に合わせて、声の出し方や音程、タイミングなどを確認していきます。

東日本大震災後の平成28年から始め、コミュニティの再生を目的に地域の人たちが集まったことがきっかけです。交流の場となっていた施設「オーリングハウス」で活動していたため、その名が付きましました。復

興工事が進みオーリングハウスはなくなってしまうましたが、高台に整備された公民館に場所を移し、精力的に活動を続けています。

会員は14人。6月23日は8人が参加し、まずはしっかりと声を出すための準備運動から始めます。体を互いに軽くたたきあって刺激するタツプでは、親睦も深まります。

練習を指導するのは佐藤久美さん(60)。ほかの団体に合唱指導や教員としての経験があり、教えることに関してはプロフェッショナル。

「歌うことで曲に命を吹き込み、再生することが出来ます。それがまちの再生と心の再生につながれば」と思いを込めます。

この日歌ったのは長野パラリンピックのテーマソングとして有名な「旅立ちの時」。少しずつ区切りながら皆で声を合わせ、一つの歌を作り上げていきます。上山いく子さん(78)は「声を出して歌い、皆さんと顔を合わせて交流できるのが何よりの楽しみ」とこやかに歌声を響かせます。

代表の照井慎吾さん(69)は「歌が好きで合唱がきれいに合う瞬間が気持ちいいし、楽しい。なにより、仲間と会えることが人生の潤いにもなる」と話していました。

雄勝オーリングコーラスでは一緒に歌を楽しむ仲間を募集しています。問い合わせは雄勝公民館(57-3052)まで。



雄勝オーリングコーラスの皆さん



楽譜を確認しながら歌声を合わせていきます

Life Across the Pacific

～ 太平洋を越えて ～ V

米国カリフォルニア州出身で、日系アメリカ人のリュウガ国際交流員のコラムです。[Life Across the Pacific] とは太平洋の向こうの生活ということです。石巻はカリフォルニアと同じく太平洋に面しています。太平洋の両側で生活してきた経験を生かして石巻とカリフォルニアのそれぞれの魅力を語ります。



国際交流員のリュウガさん

Hope you are all staying cool and having a nice summer. Are you watching the Olympic and Paralympic Games? Which countries are you rooting for? Growing up I used to watch international sporting events like the Olympics and FIFA World Cup with my parents. Since my parents were first generation immigrants, they would cheer on their home country of Japan. I joined them, but also rooted for the USA and our southern neighbor Mexico, as most of my friends at the time were Mexican American. I had a fun time watching Japan and the United States face off in the finals the FIFA Women's World Cup in 2011 and 2015, as I could be happy with either side winning.

Now I am adding Tunisia to the list of countries I am cheering for. Over the past year I've learned a lot about the country through my translation work. As many of you may know, Ishinomaki and Tunisia have a history of cultural exchange dating back to 1992, when a Tunisian student studying at Tohoku University came over to Monou town in Ishinomaki for a homestay. After the student returned home, they continued to exchange letters with their host family and that relationship would later form bigger connections between the Ishinomaki and Tunisia. Now you can even find three streets in Monou commemorating the relations—Tunisian Street, Carthage Street, and Jasmine Street.

We were the 'Arigato' Host Town for Tunisia, and the Tunisian weightlifting team had their pre-Games training camp here in Ishinomaki. There were a lot of rules in place to make sure they could practice safely. I helped translate an infection prevention manual for this single training camp and it was over 60 pages long! I was impressed with how thorough the measures were and could tell a lot of work went into making the Olympics happen this year. I hope everything goes well and the athletes are able to safely show off the fruits of all their hard practice.

Let's go Tunisia!

皆さんオリンピック・パラリンピック大会を観ていますか?どの国を応援していますか?子どもの頃、親と一緒にオリンピックやFIFAワールドカップの世界大会をよく観ていました。親は一世日系アメリカ人なので母国の日本を応援していました。私は日本だけでなくアメリカ、そして隣国のメキシコも応援していました(当時友達の大抵はメキシコ系アメリカ人でした)。日本とアメリカが対戦した2011年と2015年女子W杯は「どっちが勝っても嬉しい」という状況での観戦が特に楽しかったです。

今回はチュニジアも応援したいと思います。ここ一年翻訳の業務を通してチュニジアのことを沢山学びました。皆さんもご存じだと思いますが、チュニジアと石巻の間に長い交流の歴史があります。平成4年にチュニジアから東北大学に留学していた学生が桃生町にホームステイをしました。その後、チュニジアに帰ってからホームステイ先の住人と手紙を交わし、二人の交流は石巻市とチュニジアを繋ぎました。そして大きな絆へと広がっていきました。現在桃生町にはチュニジアとの交流を記念するチュニジア通り、カルタグ通り、そしてジャスミン通りと命名された3つの道路もあります。

石巻市はチュニジアの復興ありがとうホストタウンであり、市内でウエイトリフティングの事前合宿を受け入れました。安全に練習できるよう多くのルールや対策が立てられました。感染対策等に関するマニュアルが作成され、そのマニュアルの翻訳の手伝いをしましたが、60ページ以上の長文でした。こんなにも長文のマニュアルが作成されるほど徹底した対策を行うことにオリンピックの成功を願う気持ちが伝わりました。大会が安全に開催され、選手たちが努力の成果を見せられるよう祈っています。

がんばれチュニジア!



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより 第22号

こんにちは、桜坂高等学校です。

私たちの学校では、3年生の選択科目として生活教養の科目があります。教養・着装を選択の皆さんは浴衣の着装の実習授業がありました。

また、学校で勉強するのは生徒ばかりではありません。先生たちも考査期間中に職員研修を開催していました。



6月25日
教養・着装講座 4回目

浴衣の着付けの実習も3回目です。先生の説明の後、各自浴衣を着始めました。出来上がったら、先生に手直ししていただき「浴衣美人」に変身!



6月17日

考査期間中の生徒下校後に、先生たちが職員研修を開催しました。「SWOT分析」をもとに「よりよい桜坂高校」について、真剣に意見を交わしていました!



河南 秋の収穫楽しみだね

北村小 全校でサツマイモ植え



北村小学校の全校児童61人が6月2日、校舎裏の農園でサツマイモの苗植えに取り組みました。学年を超えて協力し、収穫の喜びを分かち合う毎年の縦割り活動です。苗はみどりの少年団が行った募金活動による予算で購入しました。6つの班ごとに学年で役割を分担しながら苗を植え、下級生には上級生が優しく教えました。秋の収穫まで、草取りや水やりをして大事に育てていきます。

石巻 こころの森ガーデン開園

南浜に新たな憩いの場

石巻南浜津波復興祈念公園の市民活動拠点内に、新たな憩いの場所が誕生しました。園内の植樹などに取り組む特定非営利活動法人こころの森が整備した「笑顔はぐくむこころの森ガーデン」で、約800㎡の敷地に植えられた約50種の花と約40種の樹木が来園者を出迎えます。6月27日にテープカットや記念植樹などの開園式が行われ、併設のカフェと休憩所もオープンしました。



河北 肥満防止から虚弱予防へ

河北ゆうゆう大学学習会

高齢者教室「河北ゆうゆう大学」の本年度第2回学習会が7月8日に河北総合センターで開かれ、受講者約30人が健康長寿の心がけを学びました。講師の中屋沙希子さん(㈱明治北日本支社仙台オフィス)によれば、やや太り気味の人が長生き。歳を重ねたらメタボ予防からフレイル(虚弱)予防にギアチェンジする必要があり、食事と口腔ケア、運動の大切を呼び掛けていました。首の運動や体操も実践しました。



雄勝 歌で届ける復興・追悼コンサート

雄勝観光物産交流館

首都圏で活躍する夫婦デュオで、ピアニストの水岡のぶゆきさんと歌手のCAMARUさんによる「復興・追悼ミニコンサート」が6月13日、雄勝観光物産交流館で行われました。「音楽を通じて元気を届けたい」と水岡さんが無償で実施し、復興支援ソング「花は咲く」、オリジナル曲「明日へ」などを披露。夫妻の愛娘・ARISAちゃんもかわいらしい歌声を響かせました。



桃生 3講座で生きがいづくり

桃生町長生大学が開講

桃生町長生大学の開講式が6月16日、桃生公民館で行なわれました。昨年までのダブル体操は、より幅広い健康づくりに向けた「元気アップ」に改称し、ほかにカラオケ、書道の3講座に36人が参加しています。「元気アップ」に参加した三浦敬子さんは「体を動かそうと思って申し込みました。皆さんとお茶っこのも楽しみ」と話していました。来年2月まで計10回行われます。



北上 磯の生き物見つけた!

大室漁港で親子観察会

北上地区十三浜の大室漁港で6月12日、磯の観察会が行われました。体験を取り入れた本年度第2回の環境市民講座で、小学生13人とその保護者9人が参加しました。網を使って潮だまりにいる貝やカニの仲間などを見つけ、講師から種類や生態を教わりました。磯の生き物に詳しくなった親子は豊かな自然の大切さを考えながら、海岸のごみ拾いにも汗を流しました。



牡鹿 地震と津波を胸に刻む

鮎川小 避難訓練と石碑清掃

鮎川小学校で6月11日、全校児童による避難訓練と津波石碑の清掃作業が行われました。ホエールタウンおしか周辺で大きな地震に遭遇し、大津波警報が出された想定。児童は「逃げろ!」と大きな声で叫びながら高台の駐車場に駆け上がり、上級生は下級生の避難も確認しました。その後、昭和三陸津波の時に建てられた石碑まで移動し、周辺の清掃作業を行いました。

